

## 新規受託開始検査のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 このたび、認知症関連検査を新規に受託開始いたしますのでご案内いたします。  
 なにとぞご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬 白

### 記

- 受託開始日 2015年 3月 2日(月)受付分より
- 受託内容

CODE	検査項目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値 単位	所要 日数	実施料 判断料	備考
0840	MCIスクリーニング検査※1、2	血清 7 mL	A1-1 ↓ G-1 凍結	-	判定 A	2~3 週間	未収載	・MCIリスクをA~Dに分類してご報告いたします。※3、4 ・最終委託先は、株式会社MCBIです。
0582	アポE遺伝子検査※2	全血 5 mL	E-1 冷蔵	PCR- RFLP※5	-	2~3 週間	未収載	・遺伝子型として、2/2、2/3、2/4、3/3、3/4、4/4の6種類の分類でご報告いたします。

- ※1 MCIとは「Mild Cognitive Impairment:軽度認知障害」の略です。
- ※2 検査受託にあたり、別途契約が必要となります。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせ下さい。
- ※3 認知症の最大のリスクは「加齢」です。30~40歳代の検査結果については年齢を加味した解釈が必要です。
- ※4 血液中のタンパク質量は栄養状態が悪い場合や自己免疫疾患など炎症性疾患において変化することがあります。
- ※5 Polymerase Chain Reaction-Restriction Fragment Length Polymorphism

#### ◆MCIスクリーニング検査のメリット

- 認知症予防に取り組むきっかけとなる検査
- 早期発見による高い予防効果

#### ◆MCIスクリーニング検査は、こんな方にお勧めの検査です

##### ○50歳代以上の方

認知症発症者数は70歳代で急激に増えることが分かっています。発症の約20年前からアミロイドβペプチドの蓄積が始まるため、自覚症状がなくても検査をお勧めします。

##### ○認知症への不安を抱いている方

健康診断と同様に、定期的に検査を受けることでご自身の状況を確認できます。

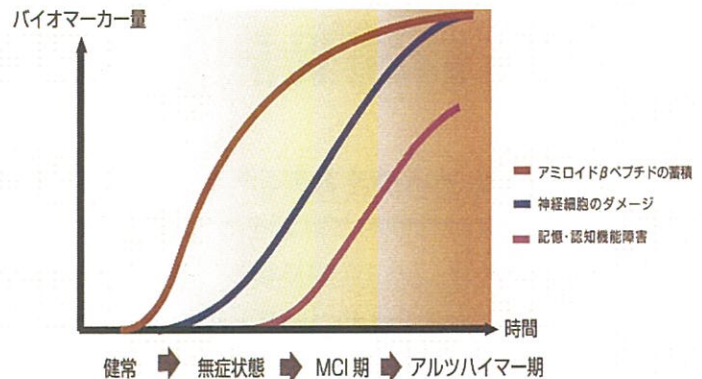
##### ○ご家族が異変に気付いた場合

MCIの状態では本人にも物忘れの自覚がありますが、以前と様子が違うとご家族が気付いたときには、検査を受けられることをお勧めします。

## ●軽度認知障害(MCI)スクリーニング検査

アルツハイマー病は発症する約20年前から主な原因物質であるアミロイドβペプチドが脳内に少しずつ蓄積されていることが分かっています。このアミロイドβペプチドは神経細胞のシナプスにダメージを与え、記憶など認知機能を障害します。MCIは認知症の前段階で、そのまま放っておくと5年くらいで約半分がアルツハイマー病などの認知症に進行すると言われています。

「アミロイドβペプチドの蓄積」、「神経細胞のダメージ」、「記憶・認知機能障害」は、時間をかけてゆっくりと進みます。(右図)



出来るだけ早くアミロイドβペプチドのたまりやすさを知り、積極的に予防する、または早期の診断・治療につなげることでアルツハイマー病を未然に防ぐことが出来ます。

私たちの体には、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβペプチドが脳内に蓄積しないよう排除する仕組みやその毒性を弱める仕組みが備わっています。その仕組みには、脂質代謝に関連するアポリポ蛋白(ApoA1)や免疫に関わる補体(C3)、アミロイドβと結合してその作用を抑制するトランスサイレチン(TTR)などが関連しています。MCIスクリーニング検査では、防御機能を持つこれら3つのタンパク質の血中量を測定することでアミロイドβペプチドに関する「抵抗力」を測るものです。<sup>1)</sup> (MCBI社資料より引用)

## ●アポE遺伝子検査

アルツハイマー病や高齢者の認知機能低下に関する重要な遺伝子の一つにアポE遺伝子があります。

このアポE遺伝子には、アポE2(ε2)、アポE3(ε3)、アポE4(ε4)といった3つの型があり、それぞれの型によりアルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβペプチドへの防御作用の強さが異なります。中でもアポE遺伝子型ε4を多くもつほど、アポE遺伝子型ε2、ε3だけをもつのと比べてアルツハイマー型認知症等の発症リスクが高まるといわれています。<sup>2)</sup>

アポE遺伝子検査では、アポE遺伝子型を調べることで認知症を発症する遺伝的リスクを測定します。

### 参考文献

- 1) 内田和彦,他:日本認知症学会誌 Dementia Japan 27,277~288、2013
- 2) 玉岡 晃,他:日本臨牀 52, 3257~3265、1994